

体罰・不適切な指導・ハラスメント防止のためのチェックシート
(管理職用)

No.	チェック項目	チェック	備考(改善点等)
1	体罰・不適切な指導・ハラスメントの根絶について、その趣旨を平素から全教職員に周知徹底しており、生徒指導の進め方について共通理解を図っている。		
2	児童生徒が教職員に相談しやすい雰囲気や体制をつくっている。		
3	教職員が、体罰・不適切な指導・ハラスメントを行ったり、体罰・不適切な指導・ハラスメントが行われていることを知ったりした時に、管理職への報告、連絡、相談が行われる体制をつくっている。		
4	体罰・不適切な指導・ハラスメントに該当する行為に対して、「これくらいなら問題ない。」という安易な雰囲気を許していない。		
5	児童生徒への対応を特定の教職員に任せきりにせず、チームで対応する体制をつくっている。		
6	体罰・不適切な指導・ハラスメントによらない指導の在り方について、コンプライアンス研修などを活用し、定期的に全教職員で研修を行っている。		
7	教職員同士が授業を参観したり、指導に困った事例について対応策を話し合ったりして、指導力を高め合う機会をつくっている。		
8	校内巡視を十分に行い、生徒指導場面や部活動における教職員の児童生徒への指導状況を把握している。		
9	体罰・不適切な指導・ハラスメントがあった場合の学校の相談窓口や、教育委員会の相談窓口を、児童生徒や保護者に周知している。		
10	部活動を複数の顧問で担当させたり、顧問会議を開いたりするなどして、部活動が閉鎖的な場にならないように工夫している。		